

水との未来

私は前に、「水にとって森林はなくてはならないもの」という話を聞いたことがありません。なぜ水は森林が必要なのでしょう。私が知りたいことは大きく二つあります。一つ目は、「森林の、水をつくる働き」です。一つ目は、「水を守るために私たちにできること」です。私が知っている知識ではあまいなことがあったので、くわしく調べてみました。

まず一つ目の「森林の、水をつくる働き」について調べました。森林には数えきれないほどの生物が暮らしています。特に土の中にはミミズやダンゴ虫、目に見えない微生物がたくさんいます。その小さな虫たちが落ち葉などを食べ、ふんをし、土をつくっているのです。また、虫たちが土の中を動きまわるため、そのあとが空間になります。だから森の土はふかふかしているんですね。

山添村立山添中学校 三年

福山 咲月

空から降ってきた雨水は、そのふかふかの土の中にしみこんでいきます。その間に、土や岩の小さなすき間を通り、雨水の中のおりやよごれをとっていきます。地下深くにのりることによって、土や岩の中のミネラル（カルシウム、マグネシウム、ナトリウム、カリウムなど）をふくみ、きれいな水になります。そして、少しずつ川にしみ出していくのです。また、大雨が降ったときでも降っていないか

ったときでも、森林の土は川へ流れる水の量をうまく調節することができます。いわゆる「ダム」のような働きもできるのです。そのため、森林は「緑のダム」といわれているそうです。

調べてみて、森林の土には「雨水をじつくりと時間をかけてきれいな水にしていくこと」と「川にしみ出る水の量を調節すること」の二つの大きな働きをしていることを知

りました。私は、こんなにもすごいことをしている森林を侮っちゃいけないと思います。それに、地下水にはミネラルがたっぷりふくんでいるそうなので、家にある井戸水をもっと飲もうと思いました。

続いて二つ目の「水を守るために私たちにできること」について調べました。先ほど水にとつて森林は重要な働きをしているということを知りました。では、その森林を守るためにはどうすればいいのでしょうか。方法としては、苗木を植えて木を増やしていくことや、木が育ちやすくなるように枝打ちや間伐つをする必要があります。しかしそれは、自分たちだけではなかなかできません。

では、身近なことではどうでしょう。地域のボランティアに積極的に参加することや、水の節約、ゴミや洗剤で水をよごすことはいらないようにするなど、考えてみるといういろいろあります。小さなことでもこつこつ毎日続けられ、水を守っていくことができるのです。日々の生活でダメなことをしていないか、見直していきたいと思えます。

調べてみて、新たに知ったことや勉強させ

られたことが多かったです。一番分かったことは、「水と人はつながっている」ということとです。水の保全がさければいい今、とうの自分は何かできていないのでしょうか。生活の中で見逃していることはないでしょうか。水はいつも私たちを支えてくれています。なくてはならないものです。水に感謝するとともに、今日からでもできることをやってきました。自分たちの意思が水との未来を変えていくのだから。